

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:2023年 3月 25日

事業所名 デイサービスACT(児童発達支援) 保護者等数(児童数) 5(6) 回収数3 割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1			コロナ禍という事もあり、口に入れる歯ブラシやコップを置いておくことが個人的には少し気になりました。	衛生的で集団に合った対応を検討します。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2				近くの保育園との交流なども考えて行きます。
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3					
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	3					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1				保護者同士の交流会などを通して、連携できるように検討していきます。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3					
	⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3					
非常 時 等 の 対 応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3					
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3					
満 足 度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	3					
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	3					

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表: 2023年 3月 25日

事業所名 デイサービスACT(放課後等デイサービス) 保護者等数(児童数) 26(28) 回収数 19 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19				出入り口にもう一つ鍵が付いてより安心になりました。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	19					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	9	4		コロナ禍では必要ないかも。コロナ禍では交流が難しいが、多くの子に障害のことを理解してほしい	コロナウィルスの状況等を考慮しながら、子どもの様子に応じて検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	9	4		コロナ禍では必要ないかも。	保護者からのニーズを捉えながら保護者交流の場を検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	1			送迎時や直接送迎の際に子どもの姿を丁寧に伝えます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	1			引き続き、定期的なおたよりの発行をしていきます。先月の予定を早めに伝えられるようにします。
	14 個人情報に十分注意しているか	18	1				引き続き、個人情報の取り扱いに注意していきます。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3	1			保護者の方に分かるような形で周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3				避難訓練計画に基づいて、訓練を行います。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19					
	18 事業所の支援に満足しているか	19					

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和 5年 3月 8日

公表: 令和 5年 月 日

事業所名 デイサービスACT

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		仕切りを使用し、生活ととりくみの場を別けています。	
	2 職員の配置数は適切である	3			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		子どもの姿や状況に合わせた環境づくりをしています。	引き続き、子どもの姿や状況、障がい特性に応じた保育環境づくりをします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			着替えコーナーでの衛生面でのタオルなど、検討していきます。

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	職員の資質向上のため、外部研修への参加等を行っています。	引き続き、正規職員、パートスタッフへの研修機会を設け、資質向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		療育計画の検討会議を設け、保育内容を検討を行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		保育後の振り返り、日誌への記録をして、次のプログラムの検討をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			日課を改善し、必要な記録時間を確保します。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			保護者の実態に合わせて関係機関等へつなぐ支援をしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				必要に応じて、各関係機関との連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				必要に応じて、主治医や医療機関との連携を図っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			引き継ぎ資料を作成し、移行先への訪問・引継ぎを行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				必要に応じて、引き継ぎ資料の作成等を行なっていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		他事業所と連携し、子どもの捉えを深めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		公園等で会うため、積極的に関わる機会を作ります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
保護	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3			引き続き、保護者実態に合わせた、研修等の家族支援プログラムを行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		連絡ノートや引継ぎから聞きとり、具体的な関わりを一緒に考えています。	

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		交流会や学習会を行い、保護者同士の関わりを大切にしています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		保護者からの申し入れのある際には、個別にて相談等の対応を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		月1回おたよりを発行しています。写真や子どものエピソードをのせて、伝わりやすくしています。	引き続き、毎月のおたよりの発行をし、保育予定等の周知をしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1	地震・津波・火災の訓練を行っています。	訓練は定期的に行います。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		保護者と発作の状況を書面と口頭にて確認しています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		管理者へ報告し、改善点の検討をしています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 2023年 3月 8日

公表: 2023年 3月 25日

事業所名: デイサービスACT

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	曜日によって物の配置を変えて安全を守っています。他の事業所の部屋を利用しています。	子どもが安心して過ごせるための部屋の確保をします。仕切りを使い、部屋の環境を工夫します。
	2 職員の配置数は適切である	2	2		引き続き子どもたちが安心、安全に過ごせるよう職員配置を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		玄関が狭いという意見からも引き続き、子どもに合わせた環境設定をしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		月間と半期で計画・振り返り・ねらいを進めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		名古屋市や自立支援協議会主催の研修に参加しています。	内部の学習会や研修をパートにも周知し、検討します。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別支援計画などを共有していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	基本情報を整理し、書面で共有しています。	週案・月間・半期の計画資料を共有します。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		他事業所の見学や児童部会を通して、とりくみ内容を広げています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		子どもの姿や要求になることから、外出プログラムを行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4		個々の要求になることから、グループに別れてとりくみを行っています。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	情報を伝えあい、子どもの姿や保護者の思いをスタッフ間で共有しています。	振り返りの時間を確保します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		子どもの様子や取り組みの評価反省を行い、次回に改善できるようにしています。	打ち合わせでねらいを確認し、記録での振り返りにつなげます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		必要に応じ、モニタリングを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		必要に応じて、連携し助言を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	地域の学童へ行ったり、公園で地域の子どもの関わり合いができるようにしています。	引き続き、地域の場で交流を図ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		懇談や送迎時に、保護者と子どもの様子の共有をしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	子どもの姿に応じて、一緒に考えあっています。	保護者ニーズに応じて行ってきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		日々の利用時や個人懇談などで悩みや困りごとを聞き取り、必要に応じて助言や支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	夏まつり・バザーで保護者との連携が少し行えた。	保護者のニーズ等を捉え、必要に応じて開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	日々の活動内容をおたよりにし、定期的に発行しています。	引き続き、定期的なおたよりの発行をしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	夏まつり・バザーで招待しました。	行事を主催し、地域住民を招待します。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2		引き続き、避難訓練計画に基づいて、訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		パートが参加できる研修を検討します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		管理者へ報告し、改善点を検討しています。	